

教育研究業績書

令和 5 年 5 月 1 日

氏名 中山 政弘

研究分野	研究内容のキーワード	
発達障害児支援 臨床心理学	発達障害児への支援 特別支援教育 支援方法に関する研修	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 担当講義実績 ：障害児保育（単独） 知的障害児教育総論（単独） 知的障害児教育論（単独） 知的障害児の心理・生理・病理（オムニバス） 重複障害・LD 等の心理・生理・病理（オムニバス） 保育実習（オムニバス） 幼稚園教育実習（オムニバス） 小学校教育実習（オムニバス） 生活基礎技能（オムニバス） カウンセリング論（単独） 発達障害児援助技術（単独） 特別支援教育概論（オムニバス）	平成 27 年 4 月～ 令和 2 年 3 月	単独担当講義では、発達障害または知的障害の特性の説明と、障害特性を持つ児童・生徒に対する指導法や指導を行うための教材を作成し、授業内で紹介した オムニバス担当講義では、発達障害または知的障害の特性をふまえた実習での関わりのある方についての指導と、支援者としての自己理解を深めるプログラムを授業内で実施した
2. 作成した教科書、教材		
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		
4. 実務の経験を有する者についての特記事項 佐賀県障害のある子どもの学校生活支援事業（特別支援教育巡回相談事業）専門家チーム メンバー 福岡県発達障害児等教育継続支援事業（特別支援教育巡回相談事	平成 17 年 9 月～ 平成 27 年 3 月 平成 27 年 9 月～	特別支援教育事業における専門家として巡回相談を行い、実際のケースに関するアドバイスや研修会の講師などを行う

業) 専門家メンバー	継続中	
5. その他 福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター教育研修事業部門 ペアレントトレーニングを応用した特別支援教育スキルアップ・プログラム TEACCH 研究会佐賀支部研修会講師	平成 22 年 5 月～ 平成 24 年 5 月 平成 22 年 4 月～	保護者支援プログラムであるペアレントトレーニングを応用した、保育士・幼稚園ならびに小学校教諭向けの発達障害児支援プログラムの企画立案、および実践上の協力スタッフとして参加する 年 1 回、特別支援学校教諭を中心とした会員向けに講義を行う

職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許 臨床心理士資格 公認心理師資格	平成 15 年 4 月～ 平成 31 年 2 月～	
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項 第 53 回九州地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会佐賀大会 分科会助言者 福岡県発達障害児等教育継続支援事業（特別支援教育巡回相談事業） 専門家メンバー 日新こども園カウンセラー	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月 平成 30 年 4 月～ 継続中 平成 30 年 4 月～ 継続中	
4. その他 鳥栖市立障害児通園施設「ひかり園」 アドバイザー 唐津市児童発達支援事業「あゆみ教室」 アドバイザー 鳥栖市第 5 次障害福祉策定委員会委員	平成 21 年 4 月～ 継続中 平成 29 年 4 月～ 平成 30 年	通園児童の保護者相談や、スタッフに対する療育のアドバイスを行う 佐賀県鳥栖市における障害者福祉の施策についての検討・見直しを行う会議のメンバーとして、主に知的障害・発達障害を持つ子

唐津市発達障害児相談事業「きらきら相談」相談員	3 月 平成 30 年 4 月～ 令和 2 年 3 月	どもへの福祉サービスについての意見を述べる 保護者に対する乳幼児健診後の医療機関や療育への導き、ならびに保育園・幼稚園のスタッフに対するコンサルテーションを複合的に行う事業を担当している
-------------------------	---------------------------------------	--

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 2 ⋮				
(学術論文) 1 障害児保育におけるコンサルテーションの意義について 2 発達障害に特化したアセスメントに基づく個別療育の取り組みの見直しについて【査読付】 3 特別支援教育論から考える幼稚園教諭・保育士を対象とした研	共著 共著 単著	平成 28 年 3 月 平成 28 年 3 月 平成 29 年 3 月	福岡女学院大学紀要・人間関係学部編・17・51-59 福岡県立大学心理臨床研究・8・3-10 福岡女学院大学紀要・人間関係学部編・18・47-54	中山政弘、伊達あゆみ、牧正興 幼稚園年長児へのコンサルテーション事例から、小学校入学を見据えた園での関わりのあり方と外部からのコンサルテーションの意義について考察する 権静香、中山政弘 知的障害児の心理特性を明らかにするから介入を行った、療育施設での知的障害児へのアセスメントに基づいた療育の見直しプランの検討と実践についてまとめる 教育という視点から考えられる、発達障害の特性に合わせた現場でのかかわり方の具体的な方法論についての研修会を実施し、その効果や研修会のあり方

修のあり方について				についてまとめる
4 障害児教育論における特別支援教育コーディネーターによる関係機関との連携のあり方に関する一考察	共著	平成 29 年 3 月	福岡女学院大学紀要・人間関係学部編・17・85-91	山浦徳子、中山政弘 実際の事例での関わりを通して、教員という視点から特別支援教育コーディネーター（SENCO）の業務や役割分担について考察した 特に第 1 著者の実践についてスーパーバイズを行った
5 幼稚園・保育園における臨床心理士のニーズについて～発達・教育相談の視点から～【査読付】	共著	平成 29 年 3 月	福岡県立大学心理臨床研究・9・49-56	中山政弘、山下雅子、森夏美 幼稚園・保育園に対するアンケート調査の結果から、幼稚園・保育園にカウンセラーが派遣されることの意義について教育相談の視点から考察する
6 教員養成系大学の大学生に対する「こころのスキルアップ教育」に関する予備的研究	共著	平成 30 年 2 月	福岡女学院大学紀要・人間関係学部編・19・107-112	中山政弘、森谷由美子 大学生のライフスキル能力と健康度や生活習慣との関連性を明らかにしていく中で、認知行動療法の観点から自己理解を深めるプログラムの重要性について考察した
7 重複障がい・LD 等の心理・生理・病理の観点から考える福岡県内 A 地区における巡回相談の現状と課題	共著	平成 30 年 2 月	福岡女学院大学紀要・人間関係学部編・19・91-97	中山政弘、江藤伸康 特別支援教育巡回相談事業である福岡県発達障害児等教育継続支援事業の現状と多職種で実施している意義について考察した
8 知的障害児の心理・生理・病理の視点から考える特別支援教育実習に向けての指導内容に関する予備的検討①	共著	平成 30 年 2 月	福岡女学院大学大学院紀要：発達教育学・5・17-22.	猪狩恵美子、中山政弘 大学 1 年生の知的障害のある人へのイメージや意識・態度についてのアンケート調査の結果から、学生における障害のイメージや態度について考察した

～1年生へのイメージ・意識調査から～ 9 知的障害児の心理・生理・病理の視点から考える特別支援教育実習に向けての指導内容に関する予備的検討② ～2年生へのイメージ・意識調査から～"	共著	平成 30 年 2 月	福岡女学院大学大学院紀要：発達教育学・5・23-28.	猪狩恵美子、中山政弘 特別支援学校教員免許取得を考えている本学科2年生の知的障害のある人へのイメージや意識・態度についてのアンケート調査の結果から、学生が抱えている障害を持っている人へのイメージや意識・態度について考察した
10 Oxytocin levels and sex differences in autism spectrum disorder with severe intellectual disabilities 【査読付】	共著	平成 31 年 1 月	Psychiatry Research,273,67-74.	Chie Aita, Yoshito Mizoguchi, Miwako Yamamoto, Yasuhisa Seguchi, Chiho Yatsuga,Taisuke Nishimura, Yoshiki Sugimoto, Daiki Takahashi, Reiko Nishihara, Takefumi Ueno, Masahiro Nakayama, Toshihide Kuroki, Hiromi Nabeta, Yoshiomi Imamura, Akira Monji 重度知的障害を伴う自閉症スペクトラム障害者の体内におけるオキシトシン値と性差に関する分析と考察を行った 特に患者の障害特性との関連性について統計分析を行った
11 教育相談としての認定こども園カウンセラーのあり方についてーコンサルテーションによる支援の試みー	共著	平成 31 年 3 月	福岡県立大学心理臨床研究・11・43-58.	中山政弘・中津濱瑠美 認定こども園での保育者コンサルテーションの実践を通して、教育相談としてどのような点を配慮すべきかについてまとめる"
12 行動障害を有する重度・	共著	平成 31 年 8 月	児童青年精神医学とその近接領域・60	會田千重・西村泰亮・瀬口康昌・山元美和子・高橋大樹・中山政

最重度知的障害児（者）に対する行動療法・構造化のとりくみ—国立病院機構 14 施設の専門病棟における多施設共同研究—			(4)・499-515	弘・黒田彰大・坂尾良一・谷口謙・遠藤尚宏・上野雄文 国立病院機構施設内に入院している重度知的障害児（者）への治療としての行動療法と構造化による指導の効果についての分析と考察を行った 特に他施設への講義やアドバイスをを行った
13 教員養成系大学の大学生に対する心のスキルアップ教育プログラムを取り入れた授業実践の試み	共著	令和2年3月	福岡県立大学心理臨床研究・12・17-30.	中山政弘、森谷由美子 大学生に対して認知行動療法の観点から自己理解を深めるプログラムを実践し、プログラムの大学生の心理的健康に果たすの役割について考察した
14 保育内容指導法の観点から考える保育者に対する実践研修の意義について	単著	令和3年3月	佐賀女子短期大学研究紀要・55・21-28.	ティーチャーズ・トレーニングを認定こども園の保育教諭に対して実施した結果とその意義について考察した
15 新型コロナウイルス（COVID-19）の影響による自粛期間中の保護者の心身の変化と支援ニーズについて	共著	令和3年3月	福岡県立大学心理臨床研究・12・17-30.	山下雅子、中山政弘 新型コロナウイルスの感染拡大を受けての自粛期間中における保護者の心身の状態についてのアンケート調査の報告を行う
16 自閉スペクトラム症を有する人への訪問看護実践の分析	共著	令和3年3月	日本看護福祉学会誌・26・2	中島充代、池田智、原田春美、大重育美、中山政弘、倉知延章 自閉スペクトラム症を持つ対象者への訪問看護の支援内容について半構造化面接を行いその内容について分析を行う
17 保育内容「人間関係」	単著	令和3年3月	佐賀女子短期大学研究紀要・56・43-	保育・幼児教育を学ぶ大学生に対して認知行動療法の観点から

の観点から考えるコミュニケーション体験授業の効果に関する予備的研究			51.	自己理解を深めるプログラムを 実践し、効果的コミュニケーションについて学ぶ意義について 考察した
18 アウトリーチ型の子育て支援の意義と 課 題 – COVID-19 禍の子育て支援 –	共著	令和4年3月	福岡県立大学心理臨床研究・14・35-43.	山下雅子、中山政弘、後藤理恵、 渋谷明子、豊田梨紗、中島亜矢 菜、宮崎圭祐、吉岡和子 商業施設の一角で行われたアウトリーチ型の子育て相談の実践と、その後新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大を受けての相談件数や内容の変化についても検討した
19 幼児理解の理論と方法の視点から見る行動療法の考え方を基にした保育士研修プログラムの意義	単著	令和4年8月	佐賀女子短期大学研究紀要・57・9-17.	事例を持ち寄りその記録からティーチャーズ・トレーニングの学びを深める研修会を行い、研修会形式のコンサルテーションという視点から本研修の意義について考察した
20 幼児教育の理論と方法の視点から見る発達に気になる子どもとその保護者への支援事業における保育士の役割について	単著	令和5年3月	佐賀女子短期大学研究紀要・57 (2) ・133-140.	保育士を始め多職種が参加した、佐賀市の発達障害児支援事業について、具体的な事業内容と保育士が担当した活動とそこで果たした保育士の役割について考察する
21 佐賀市の親子教室「親子あいあい教室」の取り組みについて	共著	令和5年3月	作業療法佐賀・12 (1) ・15-20.	仙波梨紗、溝上友喜、中山政弘、 江渡義晃 多職種が参加した、佐賀市の発達障害児支援事業について、具体的な事業内容と作業療法士が担当した活動とそこで果たした作業療法士の役割について考察した

(その他) 1 訪問看護師が実施する自閉スペクトラム症を有する人への支援内容	共著	平成 28 年 3 月	日本社会精神医学会	中島充代、原田春美、大重育美、中山政弘、倉知延章 平成 27 年度より分担協力者として関わっている科学研究費助成事業（挑戦的萌芽研究）課題番号 15K15886：訪問看護師への自閉症を有する人の支援に関する多職種型教育プログラムの構築の成果について一部を報告する 特に知的障害・発達障害の障害特性に起因すると考えられる支援ニーズについての検討を行った
2 臨床心理士のワークライフを支える取り組みについて～子育て心理士グループ「学び舎こころん」の実践から～	単著	平成 29 年 1 月	九州臨床心理学会 第 45 回宮崎大会	子育て中の臨床心理士の勉強会グループ「学び舎こころん」立ち上げに際して、男性心理士としてグループの立ち上げ時の役割や男性の視点からの参加のスタンスについてコメントする
3 臨床的専門性を活かす地域での子育て支援－認知行動療法を中心に－	共著	平成 30 年 8 月	日本心理臨床学会 第 37 回大会	臨床心理士による認知行動療法を中心とした子育て支援プログラムの地域での実際を報告してもらい、その報告を受けての参加者のディスカッションをグループワーク形式で実施するための司会を行う
4 臨床的専門性を活かす地域での子育て支援－認知行動療法を中心に－ (2)	共著	平成 31 年 6 月	日本心理臨床学会 第 38 回大会	臨床心理士による認知行動療法を中心とした子育て支援プログラムの地域での実際を報告してもらい、その報告を受けての参加者のディスカッションをグループワーク形式で実施するための司会を行う
5 休校時にオンラインを用いた小学生のグループ支援	共著	令和 2 年 11 月	日本児童青年精神医学会 第 61 回日本児童青年精神医学会発表論文集・31	山下雅子、中山政弘 新型コロナウイルスの感染拡大を受けての自粛期間中におけるオンラインを活用した親子の

の検討ーオンライン朝の会の試みー				プログラムについて報告する
6 新型コロナウイルス (COVID-19) の影響による自粛期間中の保護者の心身の変化と支援ニーズについて	共著	令和3年3月	第30回日本乳幼児医学・心理学会	中山政弘、山下雅子 新型コロナウイルスの感染拡大を受けての自粛期間中における保護者の心身の状態についてのアンケート調査の報告を行う
7 行動療法の考え方を基にした保育士研修プログラムの試み	単著	令和4年2月	第31回日本乳幼児医学・心理学会	保育士研修として行動療法をベースにした保育士向けティーチャートレーニングを改変した研修を受けての保育士の学びの意義についての考察を行う
8 超職種チームによる発達障害の可能性がある子どもとその親への支援プログラムの試み	単著	令和5年3月	第32回日本乳幼児医学・心理学会	多職種が参加した、佐賀市の発達障害児支援事業について、具体的な事業内容と各職種が担当した活動とそこで果たした各職種の役割について考察する